

2020年度 傾斜的研究費（全学分）
社会連携支援（都連携研究支援・社会連携活動支援） 研究報告書

【研究費区分】：社会連携活動支援

【研究代表者所属】：人文社会学部人間社会学科子ども・若者貧困研究センター

【研究代表者氏名】： 阿部 彩

【研究代表者氏名フリガナ】： アベ アヤ

【研究代表者職】：教授・センター長

【研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・川口遼 子ども・若者貧困研究センター 特別助教
- ・青木春人 オープン・ユニバーシティ事務室長
- ・有馬慶子 特別区協議会 事業部事業推進課長

【研究課題名】：特別区における子どもの貧困対策の推進に関する研究

【研究実績の概要】

- ・本研究プロジェクトは、研究者コミュニティと自治体職員との知識のギャップを埋め、互いに交流する場を設けることにより、自治体における子どもの貧困対策の立案・実施・評価に寄与することを目的とする。そのために、2018年度の先駆け事業をモデルに、子ども・若者貧困研究センター、オープン・ユニバーシティ、特別区協議会の連携のもとに、自治体職員と研究者を対象とした「子どもの貧困連続講座」（2019年度9回、2020年度4回、計13回）を開催した。
- ・コロナ禍の影響により、2019年度は2020年1月以降の講座が開催することができず、本事業の延長を許可していただき、2020年度に継続した。2020年度は前半は開催が難しかったが、秋よりオンラインでの開講を目指し準備を始め、11月より再開することができた。オンライン開催は、交流の面では対面よりも薄くなってしまっている面があるが、参加者数は確実に増え、また、以前は東京近辺の参加者に限られていたが、日本全国の研究者、行政官、メディア、学生・院生が出席するようになった。
- ・連続講座の開催実績は表1の通り。延べ765名の参加があり、その内訳は、特別区職員84名、官公庁（国）職員101名、大学研究機関の研究者128名、学生・院生139名、メディア45名、一般268名である。

表1 連続講座 開催実績

回	日	官公庁 職員	大学・研究機 関等の研究者	大学・大学 院生	メディ ア	一般	小計	特別 区	合計
第12	2019/4/16	6	5	3	4	20	38	5	43
第13	2019/5/27	7	7	6	5	21	46	4	50
第14	2019/6/25	7	8	3	2	9	29	0	29
第15	2019/8/2	6	6	9	1	9	31	7	38
第16	2019/9/27	12	12	9	3	23	59	4	63
第17	2019/10/23	5	6	4	4	7	26	4	30
第18	2019/11/7	10	10	11	4	23	58	0	58
第19	2019/12/17	4	4	7	3	10	28	12	40
第20	2020/1/22	10	9	6	4	19	48	11	59
2019計		67	67	58	30	141	363	47	410
第22	2020/11/30	5	14	13	5	31	68	0	68
第23	2020/12/21	2	19	8	2	32	63	14	77
第24	2021/1/27	17	23	24	6	40	110	11	121
第25	2021/2/27	10	5	36	2	24	77	12	89
2020年計		34	61	81	15	127	318	37	355
2019-20計		101	128	139	45	268	681	84	765

【研究成果の都民への還元あるいは東京都への政策提言】

・本事業は、学術分野における子どもの貧困研究を政策に還元するための直接的な事業であり、特別区を始め都・国・地方自治体などの実際に政策立案の立場にいる方と、学術コミュニティを結ぶための取組である。この事業によって、実際に学術コミュニティと自治体との協力関係が生まれた事例もある。

【東京都以外への社会への提言や活動の実績】

・特にオンライン開講となつてからは、地方の方々からの参加が増えた。今後は、コロナ終息後も、オンラインでの発信としてハイブリッドな研究会をすすめていく。

【外部資金への応募状況】

・センターとして、現在、複数の大型科研費（学術変革（A）等）に応募中である。

【科学研究費助成事業や国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・なし